

2 C&N部 ②ゼロトラストネットワーク

通信キャリアの強みを活かし、ゼロトラストに資する新たなネットワークサービスを拡充

クラウド & ネットワークサービス部（以下、C&N部）は、営業組織と連携しながら、通信キャリアならではの強みを活かしたサービスを訴求している。本稿では、ゼロトラストに資する新たなネットワークサービスの概要やアプローチについて紹介する。

NTT Comが描く「ゼロトラスト型ネットワーク」

C&N部では、中期戦略「ゼロトラストグリーンICT」の下、新たなネットワーク（以下、NW）サービスとして、オーバーレイとアンダーレイが一体化した「ゼロトラスト型NW」を訴求している（図1）。NTT Comは従来、オーバーレイとアンダーレイをそれぞれ独立した存在として捉え、別々に提供を行う傾向にあったが、今後は競合他社との差別化を図るうえでも、オーバーレイとアンダーレイを連携させてトータルで提供していく方針だ。これに

より、企業内に散在している様々なデータを安全に管理する範囲をアンダーレイNWまで拡充できる。また、「ゼロトラスト型NW」は他のSDPFサービス群とも連携を図ることができるうえ、Webからのコントロールも可能だ。さらに、従来ドコモが提供していた専用レンタルルーター、Wi-Fi、5Gを包括することでオフィスからでも、店舗からでも、自宅や外出先からでも、移動固定/閉域広域に関わらずゼロトラストに資するサービスを提供することが可能となる。

お客さまから見た提供価値～「ゼロトラストNW」の特長～

お客さま側から見た「ゼロトラスト型NW」の提供価値は4点にまとめられる（図2）。

1点目はサイバー攻撃の自動防御である。サイバー攻撃自動防御については、NTTCom独自のオーバーレイとアンダーレイを一体化し、セキュリティ強化を叶える自らのビジネスモデルを構築する（ビジネスモデル特許出願中）。

2点目はWebからのコントロール。即時にサービスの利用を開始したり、変更・解約についても即時の対応が可能で、設計から運用までの稼働を削減することができる。

3点目はどんな環境にも合わせた

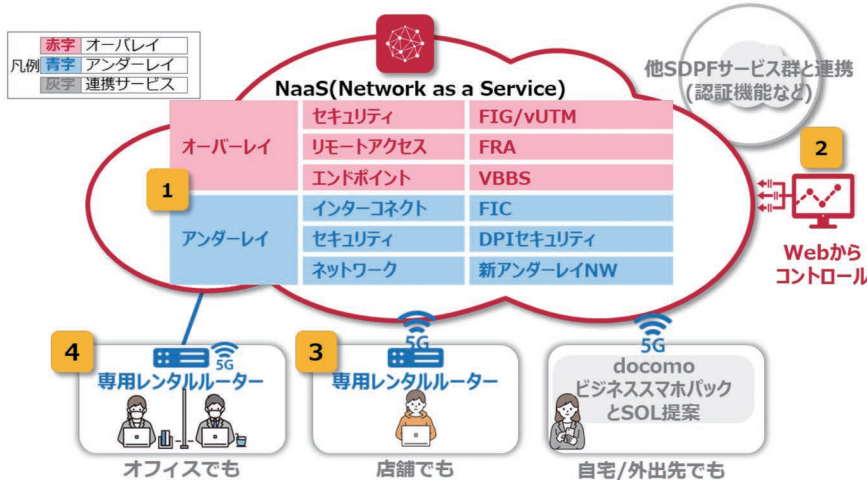


図1 NTT Comが描く「ゼロトラスト型NW」イメージ

- 1 サイバー攻撃を自動防御
- 2 Webからコントロール
即時に開始、変更、解約が可能
設計から運用の稼働を削減
- 3 ドコモ5Gを中心とした柔軟性
どんな環境にも合わせた柔軟な
モバイル・光回線融合ネットワークで
利便性を向上
- 4 トータルコストの削減
高価な機器は原則不要

図2 お客さまから見た提供価値

柔軟なモバイル・光回線融合ネットワークによる利便性の向上。

4点目は、上述3点の提供価値によるトータルコスト削減である。

中小企業市場、そしてLoB領域へとビジネス領域拡大を目指す

NTT Comは「ゼロトラスト型NW」のアプローチについて、まず従来の主なターゲットであった大企業を中小企業にまで拡大し、次にLoB領域にまで拡大する方針だ。「大企業×コーポレートIT」は従来NTT Comが得意としてきた領域ではあるが、今後中小企業領域への拡大も「待たなし」で実行していく方針だ。例えば、大企業のお客さまに対しては、ゼロトラストの必要性を提唱し、オーバーレイとアンダーレイ機能を一体化したセットでの提案を図る。一方、既に競合他社のオーバーレイのサービスを受けている中小企業のお

客さまに対しては、まずはアンダーレイからアプローチし、徐々にオーバーレイの導入を検討いただく意向だ。

さらに、大企業・中小企業問わずLoB領域にまで踏み込み、OT (Operational Technology) についてもサポートしていきたいと考えている。

中小企業のお客さまのビジネス成長と共に自らの成長を目指す

NTT Comは中小企業に対し、「大胆にシンプル化した」カスタマージャーニーを描いている。まずは、加入者一人あたりの月間事業収入の平均額を指すARPU向上を目的に、BOCNのワイドプラン、アプリコントロールセット販売を強化し、そして次に、新NWサービスのワイドプラン・アプリコントロール拡販につなげ、SD化された強みを活かして、ポータルから他のオプション追加を訴求するといったシナリオだ。

また、具体的な営業支援として「WEB会議での安定性を求めたいですか?」「Windowsアップデートで突如回線が途切れることに不満を感じていませんか?」といったお客さまに向けた質問を予め用意し、質問への回答からお客さまのニーズを探りつつ一体型NWを推奨するといった提案シナリオも用意している。提案シナリオがそのままカスタマサクセスシナリオとなれば、提案も順次高度化できる。お客さまの利便性を考慮し、ポータブルデバイスからの申し込み等についても現在検討中である。

ビジネスターゲットの規模に拘わらず、今後のサービス提供の軸は「ゼロトラスト型NW」の実現であることに変わりはない。今後もC&N部は、関連組織と連携しながら、通信キャリアならではの強みを活かしたゼロトラストNWサービスを訴求していく。

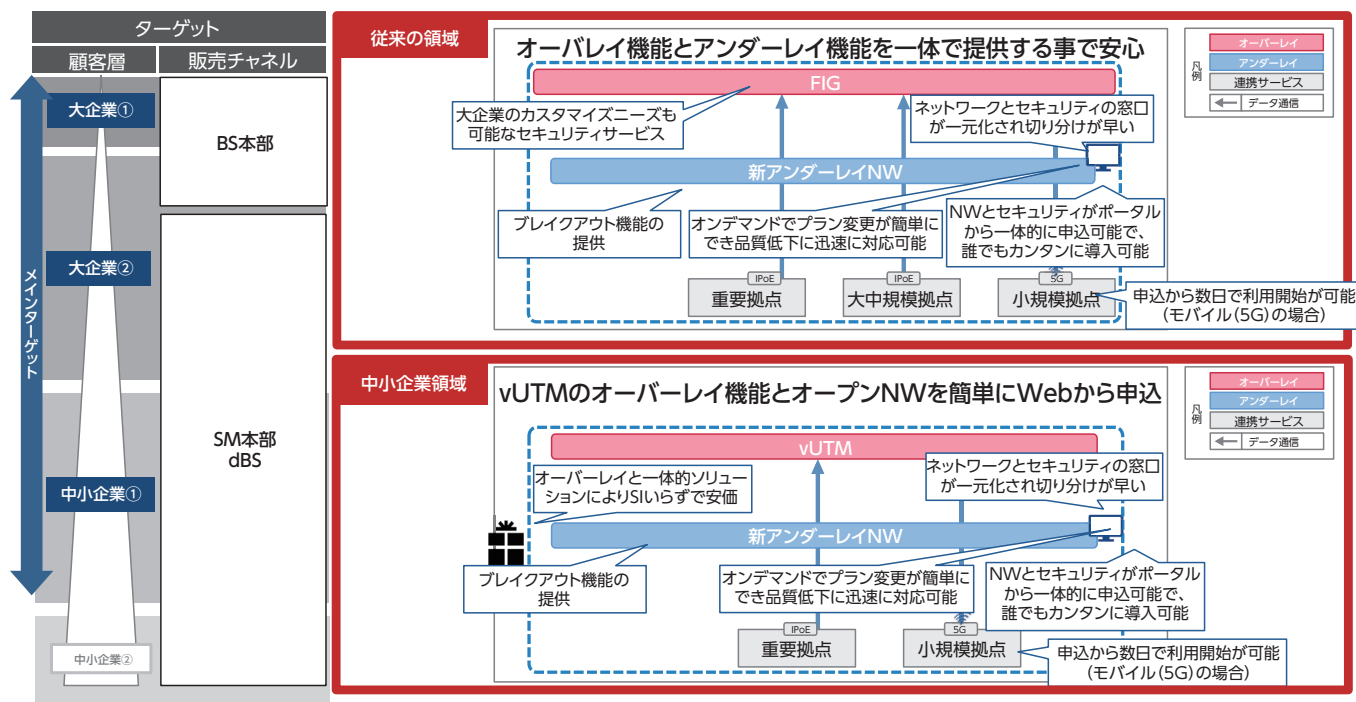


図3 ゼロトラスト化に資する新NWサービス